

コード	503010103
記入日	H26.6.5

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	森 太
担当者	今川 広太

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	トライアスロンin上五島大会交流補助事業
----------	----------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50301	基本事業名称	スポーツによる健康づくりの推進	目コード	1
事務事業コード	5030101	事務事業名称	生涯スポーツの普及と振興事業費	細目コード	1020
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金等交付規則		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	トライアスロンin上五島実行委員会	(対象指標1)	1団体			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・トライアスロン競技 →スィム2km、バイク42km、ラン12km 合計56km →レギュラー部門 70人 →リレー部門11チーム 53人 →アクアスロン部門 13人 →参加者 男子 97人 女子 39人 合計136人 →スタッフ(ボランティア) 790人	***** 補助金交付団体数	***** 1団体	***** 100%	***** 補助金交付団体数÷ 補助金申請団体数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	補助金申請内容を審査し、当初の計画どおり交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・地域の活性化と交流人口の拡大を図ることを目的とする。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 参加者数	***** 136人	***** 119%	***** 参加者数÷ 前回参加者数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	前回の参加者数を目標としており、交流人口の拡大を図る意味から、前回の参加者数を上回っており開催の意義は大きい。			
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 団体	4	4	3	1	1				
	②									
成果指標	① 人	557	579	443	114	136				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	12,500	12,500	9,900	2,600	2,600				
直接事業費 A	千円	4,800	4,800	3,600	1,200	1,200				
人件費 B	千円	7,700	7,700	6,300	1,400	1,400				
内訳	従事職員数	人	1.1	1.1	0.9	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	2,800	2,800	1,600	1,200	1,200			
	その他	千円								
一般財源	千円	9,700	9,700	8,300	1,400	1,400				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	地域において、6月の第1日曜日はトライアスロン大会の開催が根付き、婦人会や消防団をはじめ、地域住民のボランティアスタッフとして参加する意識が高く、地域の活性化に貢献している。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	地域住民が主体となって、実行委員会を組織し開催しており、各種団体の協力体制も確立されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	大会後、参加者にアンケート調査を行い、アクアスロン部門の増設、距離延長など参加者増につながる対策を講じながら実施している。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	参加費の徴収、県・町補助金及び企業協賛金のほか実行委員会も負担しており、町補助金に見合う結果が得られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	実行委員会の負担分もかなりの金額であり、補助金の縮小は考えられない。事務量においては、通常の補助金支出処理事務範囲内である。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	地域住民のボランティアや各種団体の協力など地域住民が主体となって開催し、地域の活性化に貢献しており、スポーツを通じた誘客イベントとしても効果的である。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。